

競技注意事項

1. 競技規則について

2023年陸上競技連盟規則及び、本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 招集について

- ①選手招集は第3ゲートバックスタンド下で実施する。
- ②招集開始時刻にアスリートビブスとスパイクの確認を受ける。
- ③最終点呼の代理人は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する選手は、最初の種目の招集完了時刻までに招集所に「二種目同時届」を提出すること。
- ④欠場する場合は、「欠場届」に必要事項を記入し、招集開始時刻までに招集所に提出すること。
- ⑤用紙（二種目同時届、欠場届）は正面玄関ホールのT I Cに置く。
- ⑥携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器は招集所内、競技エリア内に持ち込まないこと。
- ⑦招集時刻（競技開始時刻を基準とする。）

トラック								
100m・300m			300mH・4×100mR			3000m・10000m・4×400mR		
組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了
1～6	25分前	15分前	1～3	25分前	15分前	1～2	25分前	15分前
7～12	15分前	5分前	4～5	15分前	5分前	3～4	15分前	5分前
13～18	5分前	5分後						
19～24	5分後	15分後						
25～30	15分後	25分後						
31～36	25分後	35分後						
37～45	35分後	45分後						

フィールド					
棒高跳		その他の跳躍競技		投てき競技	
開始	完了	開始	完了	開始	完了
60分前	50分前	50分前	40分前	40分前	30分前

3. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブス（縦16cm×横24cm）は、男子は黒字、女子は赤字で明瞭に書き、必ず胸、背につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部だけでよい。
- ②写真判定にともなう腰ナンバー標識（縦12cm×横18cm）は陸協登録番号で作成する。男女とも黒字で明瞭に書き右腰後方につけること。リレーについては第4走者のみ右腰後方につけること。
- ③3000m、10000m決勝については別腰ナンバー標識を使用する。招集場で受け取り、フィニッシュ後に係に返却すること。

4. 競技の抽選および番組編成について

- ①決勝の組み合わせ（レーン順）はすべて番組編成員が公正に抽選をする。
- ②リレーについては招集完了時刻1時間前までにオーダー用紙を予選、決勝とも招集所に提出すること。オーダー用紙はT I Cに置く。
- ④タイムによるプラスの決定は、プラスの明示してあるチーム以内の同記録者数であれば次のラウンドへ進める。プラスのチーム数を越える同記録チームが出た場合は、写真判定によっても着差が認められない時、抽選により次のラウンドへの進出を決定する。

5. 競技について

- ①競技者に対する助力については、TR. 6に準ずる。
- ②次の種目について、下記のタイムを超えて周回を残している場合、競技運営上フィニッシュ地点で競技を中止させるので、審判員の指示に従うこと。
(男子) 10000m 35分 (女子) 10000m 39分
- ③フィールド種目の試技は3回とする。

6. 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、競技場備付けのものを使用しなければならない。ただし、やりについては、1人2本以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。このとき、すべての競技者が使用できることが条件となる。
- ②やりの検査は競技開始の1時間前より40分前までに、100mフィニッシュ側の用器具庫で行う。やりには所属名を記入しておくこと。前回の検査済シールは剥がしておくこと。
- ③スパイクシューズは全天候型のピンを使用し、その長さは9mm以内とする。ただし、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- ④シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）の厚さについては、レース後および競技中に確認することがある。

7. 表彰について

- ①リレーについては、各種目3位まで表彰する。成績発表のアナウンスがあったら玄関ホールに4名そろって来ること。
- ②県選10000m優勝者には、7月の滋賀県選手権大会で選手権章と賞状を授与する。但し、選手権章は県内登録者に限る。

8. 滋賀県選手権4×400mRの出場権について

- ①滋賀県選手権大会（4×400mR）へのエントリーについては、所属で1チームとし、今大会の記録の上位8チームとする。

9. ウォーミングアップについて

- ①メイン競技場での練習の時間帯は7:30~10:00とする。ただし、9:30以降はバックストレートのみ使用可能とする。補助競技場での練習は、7:30~16:30とする。
- ②メイン競技場、補助競技場とも競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は禁止する。
- ③レーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習2レーンはジョグ専用、3~6レーンは短距離練習、7・8レーンはハードル練習とする。
- ④跳躍練習について、助走練習のみ可能とする。ただし、使用する者で砂場の準備片づけをすること。マットや踏切版の使用はできません。
- ⑤投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- ⑥ウォーミングアップは補助競技場および室内練習場で行うこと。メイン競技場通路や駐車場周辺で、ダッシュ等のウォーミングアップは禁止する。
- ⑦室内練習場は、短距離系のスピード練習と長距離のジョグは混在しないように、コーンで仕切るの
で注意すること。また走る方向は彦根城側から大型スクリーン側とする。砂場は使用不可とし、助走路はジョグとして使用可とする。

10. その他

- ①本大会の記録証明書（500円）は、正面玄関ホールのT I Cに申し出ること。
- ②競技会開催中における怪我については応急処置の他は責任を負いません。十分注意すること。
- ③貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に十分注意すること。
- ④使用した場所は責任を持って清掃すること。各自、各チームが出したゴミ等は持ち帰ること。競技場の環境美化に協力すること。
- ⑤横断幕の設置は、サイドスタンドおよびバックスタンド最前列手すりとする。
- ⑥テントはメインスタンド、サイドスタンドは禁止する。バックスタンドは可とするが、風で飛ばないように設置すること。